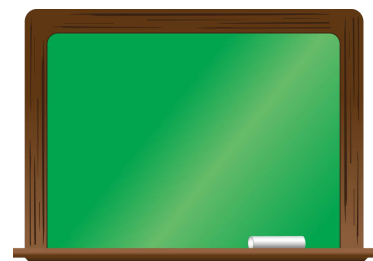


第3回協議会を開催しました



野津原中学校区
適正配置地域協議会
だより

第3号
平成26年11月



十月二日（木）の午後七時から、野津原市民センター大会議室において、第三回の協議会を開催しました。

前回の会議では、各校区において、住民の方や保護者の方の統合についての考えを聞き、協議会で発表してもらったことを確認して終了しました。

そこで、まず議事では各校区ごとに、地域から統合についてどのような意見が出たかを発表しました。（内容は二面に記載しています。）

各校区とも主に通学や地域とのつながりに関するものが多かったとの報告がありました。

これを受けて、委員からは統合の時期や跡地の利用、統合後の学校のあり方等について多くの意見が出されました。

続いて議事二では、今後の協議の内容について検討し、議事一で発表された内容を踏まえ、

**次回は
十一月二十七日（木）開催**

第四回の協議会は、十一月二十七日（木）、午後七時から午後八時三十分まで、野津原市民センター大会議室で開催します。

委員以外の地域の皆様にも会議の様子を実際に見て、聴いていたとき、適正配置の取組を進めてまいりたいと考えています。

統合の時期や通学支援の方法、残された施設の利用、統合の形といたったことが協議の柱になってくまされたのではないかと意見が出されました。

この中でも、通学に関する問題では保護者が特に気にしている問題であるため、まずここから話を進めていった方がよいのではないかと、いろいろな意見を交換し、保護者や地域の方々に通学に関する意見や要望等を伺い、次の協議会で出さなければならないかという意見が出されました。

こうした協議の結果、次回は各校区で出された通学に対する考えを聞き、協議をしていくということを確認して、閉会となりました。（主な意見については二面に降に記載しています。）

各校区から発表された統合についての意見(要旨)

【野津原東部小学校】

○保護者に対して、統合について回覧という形で意見を伺ったが、あまりピンと来ていないようである。ただ、中部小や西部小の子どもが、こちらに来ることになるので、通学の手段がネックになってくるのではと思っている。低学年と高学年では下校時刻も異なってくるので、帰りをどうするか考えることが一番大切ではないかと思う。

○昨年度行ったPTAのアンケートでは、統合について「知っている」が37%、「なんとなく知っている」が53%「知らない」が6%という状況だった。また、統合についてどう思うかについては、「いいことだと思う」が24%「仕方ない」が69%「あまり賛成できない」が6%という結果になった。そうした中で、小学校がなくなると過疎化が進むのではないかという意見や、少しでも人数が多いところで学校生活を送った方が子ども達も楽しいだろうし、刺激にもなっているのではないかという意見があった。

【野津原中部小学校区】

○PTAの中で、「賛成」や「どちらでもない」という意見もあるが、数からすると「反対」が多い。理由としては、小学校がなくなることによって中部小校区へ帰ってこようとする若者が少なくなるのではないかと、地域と子ども達の関係が今よりも悪くなってしまわないか、小学校には歩いて登校してほしい、といった意見が出ている。

○野津原中央幼稚園がのつはるこども園になったときと同じようなことにならないよう、送迎についてはしっかり話しておきたいと思っている。送迎について、バスを2便、帰り3便にしてほしいと具体的に考える方もいる。このように、中部小校区では送迎についての不安が一番大きい。

【野津原西部小学校区】

○できることなら統合はしたくないという意見も出ているが、統合をすることについては仕方のないことだという方向で話し合いをしている状態である。西部小校区では若い人の定住がなくなるのではないかとことや、地域の人と一緒に学校行事を行うことがなくなるといったことを心配している。だが、子どものことを考えると、やはり人数の多い学校の方がいいのでは、という気持ちはある。

○統合はもう決まっていることなので、それが何年先になるかをはっきり決めてほしい。また、PTAも統合がいつになるかわからないと運営が厳しい。通学についても西部はPTA会員が少ないため、パトロールや交通見守り隊のような活動ができないので心配である。

第3回協議会における主な意見を掲載しています。

(発言内容については、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

○は委員の発言 ●は事務局の発言

【各校区からの発表を受けての意見】

○のつはるこども園を作るとき、最終的には意見が反映されているが、最初の説明会が報告会のようなものであったり、改善点や質問を出したりしても一度持ち帰ってからとなり、しかもその回答が出るのが遅かった。今回は協議会ができたので、きちんと話をしたい。

○廃校となる小学校の施設はかなりいい状態で、利用価値があると思う。地域の活性化という観点からも、統合後の施設や跡地の利用について、皆さんと一緒に考えていかなければならないのではないかと。

○「統合については賛成だが、小中一貫の併設型新設校を造らないのなら慎重に協議する必要がある」という声があった。新設校を造る考えはないという話だったが、

いずれかのタイミングで新設校を造るということ、この協議会の中で考えていた方が良いのではないかと。

○小さな子どもがいる親から「2・3年のうちに統合するのであれば1年生から東部小に行った方がいいが、生活はここでしている



ので地域とのつながりを持つことができにくくなるのは気になる」という話を聞いた。親は、生活基盤から本来の校区の学校に行かせるのか、それとも東部小に行かせるのかで頭を悩ませている。

○小学校が1校、中学校が1校となるので、いずれは賀来小中学校のように小中一貫の併設型新設校にしたいという要望がある。そういった意見についてこの協議会で話し合うことは可能か。

●この協議会は3小学校の統合という形の下で、規約も成立しスタートしている。中学校に関してどうしていくかは基本計画の中に入っていない。この協議会で協議していただくのは、野津原東部小に2小学校を統合するという内容であることをご理解していただきたい。ただ、報告書の中に将来こうしたいというようなことを、要望として入れることについては考えられる。

○東部小・中部小校区の方から統合について「よくわからない」というような意見も出ていたようだが、何が違って何がかわらないかが明記されていないため、ぼんやりしたイメージしかできず、曖昧な考え方になっているのではないかと思う。

○東部小に中部小・西部小を統合することだが、統合後に校名が変わるといったことはあるのか。

●校名に関しては皆様方の協議次第ということになる。学校名や校歌、学校行事等を協議し、要望することについては構わない。

○野津原小学校という新しい学校ができる、ということ考えていった方が、感覚的にやりやすいのではないか。

○実際、野津原中学校も今市中学校と統合している。校名は野津原中学校だが、校歌も変えて改めて新しく学校を創ったというような状態である。そうした方が協議に入りやすいのかなと思う。

○まずは、中部校区と西部校区から出た反対意見がある程度クリアしていかなければならない。私達は各校区の代表としてここに来ているのだから、そういった反対意見にある程度説明ができる状態にしなければいけない。校名等は後で決めていけばよいのではないか。

○子どもは人数が増えるということで統合に対して喜びも感じている。一方、祖父母は孫の学んでいる様子を見れなくなるのは寂しいといっている。私達委員は、子どもと話をし、各校区の親や子どもの声をきちんと伝えることが役目だと思っている。実際に統合となったときに、お互いがいい関係で学んでいけたらいいと考えている。

○中学の保護者は、すでに子どもが社会人になっている方もいる。今後、小中一貫の新設校を作る可能性を考えて、若い世代がどうしたらこの地域に住めるのかというような先のことについて考えていきたいと思っている方が多い。

○以前、27年度中に結論を出して28年ごろに統合しては、という意見があった。計画では平成30年ごろまでに統合するとしているが、いつ頃するかについて何か考えはないか。

○統合に向けて協議会を立ち上げ、統合するということは決まった。その時期をいつにするかを先送りにするべきではないという意見もあるが、あまり急ぎすぎても話が変な方向にいつてしまう。協議会として、27年度中に意見をまとめたいということであればいいのではないか。



【今後の協議内容について】

○何年に統合するかについては、27年度中に考えてはどうだろうか。

○目標は決めなければならない。しかし、協議会の中である程度問題を解消しないと決められないものなので、28年度を目標として、統合した上での中身等を決めていけばいいのではないか。ただ、子どものことを考えると、いつ統合するか目標を作るのは早い方がいいと思うので、28年または29年くらいまでには統合するという形で持っていけたらいいのではないか。

●皆様方のご意見から、統合の時期や通学、残された学校の跡地利用といったものが今後の協議の柱になると考えられる。また、野津原中が今市中と統合し、新たな歴史を歩み始めたという話もあったことから、統合した3小学校と一緒に歴史を踏み出すといった考えもある。統合の形についても協議の柱になるのではないだろうか。統合の時期を早く決めようとしているのは、統合の手続きには時間がかかるし、結論を明確にし、目標を持って皆が一同に統合に向けて協議をしていくのに必要だからだと思える。しかし、ただ今の時間には統合の時期だけでなく、通学、校舎の跡地利用といった協議の柱について意見をいただければと思う。

○統合後も、今までと同じような形で地域とのつながりが取れるかを考えると、それは厳しい。小学校でやっている地域交流会等の活動についても、統合後に本当にできるかを考えると少し難しいかもしれない。

○私は統合までに、あと3年くらいは協議が必要だと思っている。もし、もっと早く統合したいということであれば、分科会のようなものを作り、並行して協議する必要があるだろう。段階的に統合というのは、子どもたちのことを考えるとできるだけ避けたいが、今の西部小の状況を見るとそれも視野に入れておく必要があるかもしれない。

○協議の柱として、統合の時期、通学、残された施設の利用、統合の形といったものが出されたが、保護者がどれが一番重視して考えているかといえば、やはり通学のことだと思う。ここがクリアできれば、統合に快く賛成するという人もいるので、そこから入っていった方がいいのではないかな。次回までに各校区で意見を伺い、この協議会で出し、答えが出たものについては地域に返せるといいと思う。



○統合はすでに決まっているので、統合するにあたってどういうことをしてほしいのかというのを決めて動いた方がいいと思う。どうすれば皆が納得できるか考え、学校やPTAで統合に対する要望事項はないかアンケートをとって進めていった方がいいのではないだろうか。

○中部校区では、学校でスクールバスを持ってないかという意見が出た。通学については、路線バスを使うパターン、のつはることも園のようにジャンボタクシーで行くパターン、学校としてスクールバスを持つパターンというのが考えられるが、これら全部は可能なのか。やはりスクールバスは無理なのか。

●協議会が始まる前の準備会の段階では、スクールバスではない方がいいという意見も出ている。また、スクールバスができるかできないかについては、報告書の合意事項や要望事項として出していただいていたからの話となる。

○バスの問題については、日を改めて話した方がいいのではないかな。ただ、個人的には大分バスの便数を増やしてもらった方が野津原のためにはいいのではないかなと思っている。

第3回地域協議会での確認事項

- ◆委員の方が通学について保護者や地域の方々と相談し、次回の協議会で意見を出してもらうことを確認した。
- ◆第4回の地域協議会を11月27日(木)19:00～20:30、野津原市民センター大会議室で開催することを確認した。

<編集後記>

協議会では、協議会の様子を広くお知らせするため、協議会だよりを発刊するとともに、市のホームページにおいても会議の要旨などを公開しています。
今後とも、協議会へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

野津原中学校区適正配置地域協議会だより「第3号」

発行:平成26年11月
発行者:野津原中学校区適正配置地域協議会
事務局:大分市教育委員会教育企画課
連絡先:(住所) 大分市荷揚町2-31
(TEL) 097-537-5903(直通)
(E-mail) kyoikukikaku@city.oita.oita.jp